

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	武道館
指定管理者	株式会社東急コミュニティー
指定期間	H22.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	スポーツ課 ()

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

A

<判定理由>

施設の魅力向上のため、提案した取組みを着実に実施した。
 サービス面については、利用者満足度調査結果や要望等に積極的に対応することにより利用者サービスの向上に努めていることから、利用者から好意的な意見が寄せられており、今期（平成24年度下半期）の利用人数の実績は、前年同期対比2.7%の増加があり、結果的に、今年度上半期の利用者数と合せた年間総利用者数は、前年度の総利用者数に比べて11.7%も増加することに繋がった。
 施設の維持管理面については事故等もなく安全に管理されており、特筆すべき苦情・要望等もないことから、利用者との良好な関係が保持されていることが窺え、全体として適正な管理運営が行われていると考える。
 また、良好な収支状況であることからA判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月12日	11月29日	○	—	○	無	
11月	12月13日	12月27日	○	—	○	無	
12月	1月14日	1月31日	○	—	○	無	
1月	2月12日	2月28日	○	—	○	無	
2月	3月11日	3月28日	○	—	○	無	
3月	4月11日	5月10日	○	—	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	夜間のサラリーマン等の利用や、各教室等の夜間利用の促進など、利用者のニーズを把握し、開館時間を拡充する。	通常であれば午前9時～午後9時である開館時間を、平日は午前9時～午後10時に延長し、利用者が、閉館に伴う片付けや帰り支度を、余裕をもってできるようにし、夜間の利用を促進するサービスの向上を図った。（東日本大震災以降、スポーツ課からの指示により、節電などの関係で平日も午後9時閉館としている。）

	提案内容	実施状況
2	施設に関する県民への情報提供	<p>利用者に対する適正かつ迅速なサービスの提供を基本スタンスとし、県広報、ホームページ、パンフレット、施設内掲示板等の様々な媒体を通じて、県民に対する情報提供に努めた。特にホームページにおける施設の予約状況を随時更新することにより、施設予約の利便性を高めた。</p> <p>また、武道館報の発行を通じて武道の普及啓発に努めた。</p>
3	武道の普及・振興に資する取組み	<p>平成24年度下半期 (平成24年10月～平成25年3月) 利用人数(延べ) 103,529名(年間220,320名)</p> <p>1 武道教室参加人数 246名 <内訳>第3期(4種目・5教室) 154名 第4期(2種目・2教室) 92名</p> <p>2 県民スポーツ週間参加人数 287名 <内訳>体験コーナー(4種目) 136名 体験教室 (出張含む/8種目・10教室) 151名</p> <p>3 一般稽古(5種目) 7,474名(年間14,809名)</p>
4	施設の維持管理とサービスの向上	<p>より快適なサービスを提供するにあたり、施設の日常点検を随時行い、修繕等が必要な場合には適宜対処した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剣道場の煙感知器を交換した。 ・弓道場の道場内において冬場を使用しているホットカーペットが故障したため、交換した。
5		

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額			支出額	収支差額	
		指定管理料	利用料金	その他収入			収入合計
募集時の積算額 (参考)		35,621	12,720		48,341	48,341	0
予算額	前年度	35,431	9,937	2,782	48,150	48,150	0
	上半期	17,715	4,969	1,407	24,091	24,091	0
	下半期	17,716	4,968	1,375	24,059	24,059	0
	今年度	35,431	9,937	2,782	48,150	48,150	0
	上半期	17,715	4,969	1,407	24,091	24,091	0
	下半期	17,716	4,968	1,375	24,059	24,059	0
下半期実績額	10月	2,749	724	779	4,252	3,320	932
	11月	2,749	637	5	3,391	3,381	10
	12月	3,969	647	0	4,616	4,070	546
	1月	2,749	908	425	4,082	3,111	971
	2月	2,749	677	0	3,426	2,832	594
	3月	2,749	475	0	3,224	3,441	▲ 217
	今年度 下半期合計	17,714	4,068	1,209	22,991	20,155	2,836
	前年度 下半期合計	17,714	4,217	1,236	23,167	21,006	2,161
	対前年度下半期比			③	-0.8%	-4.1%	
	参考	今年度 上半期合計	17,714	5,013	1,950	24,677	21,597
今年度 合計		35,428	9,081	3,159	47,668	41,752	5,916

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	23年度下期に比べて24年度下期の道場利用料が減収となっている。23年度下期に対して、道場稼働率が約▲3%、減免対象団体の利用が約+19%という状況であったことが主な要因と考える。(稼働率が減、かつ減免対象団体が増)一方、支出額の減については、管理運営して3年が経過し、補修費用・備品の購入などが減り、経費が前年同期約▲60万円の減となっているのが大きな要因である。
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：10万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	18,997 人	19,490 人	▲ 2.5 %
11月	19,966 人	18,653 人	7.0 %
12月	16,760 人	15,355 人	9.2 %
1月	15,773 人	15,793 人	▲ 0.1 %
2月	14,145 人	15,231 人	▲ 7.1 %
3月	17,878 人	16,336 人	9.4 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	114,479 人	116,801 人	96,498 人	2.1 %	21.1 %
今年度下半期計	100,000 人	103,519 人	100,858 人	3.6 %	2.7 %
今年度合計	214,479 人	220,320 人	197,356 人	2.8 %	11.7 %

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	7 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管課受付分	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

分野	概要	対応状況
施設・設備	師範室などのエアコンの修理	修繕工事予定調書等でスポーツ課に依頼済
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
1月18日 (10月1日)	10月1日 (株)東急コミュニティーが、同社社員が起こした、都内マンションの管理業務に係る現金着服横領を公表 10月9日 同社へのヒアリングを実施 平成25年1月18日 基本協定書に基づき随時モニタリングを実施、指定管理業務に関する現金の受け渡し管理記録の点検を行なった。	モニタリングの結果、指定管理業務で現金領収したものについては全て適正に管理されており、指定管理業務への当該事故の影響はない。

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>今期（平成24年度下半期）の利用人数の実績について分析したところ、前年同期対比2.7%の増加があり、結果的に、今年度上半期の利用者数と合せた年間総利用者数は、前年度の総利用者数に比べて11.7%も増加することに繋がった。</p> <p>また、今期の収入に関しては、前年同期に比べて利用料が減収（教室受講料はほぼ増減なし）しているが、その分支出を抑制することができたため、結果として収支上のプラスを維持することができた。これは、軽微な補修、あるいは備品の購入などを、過去2年間の指定管理期間において実施したため、今年度中での出費を抑えられたことによるものである。</p> <p>サービス面については、利用者から寄せられた要望に対して迅速に対応していることから、利用者から好意的な意見が寄せられている。</p> <p>なお、苦情・要望の中で一番多く寄せられる要望は「大通側・弓道場の雨樋からの落水」（大通り側は一般行人にも迷惑）や「師範室のエアコン」などの施設改修についてのものであるが、これについてはリスク分担上、指定管理者の範疇を越えたものであるため、引き続き、予算の確保に努めていく必要がある。</p> <p>施設の維持管理面については事故等もなく安全に管理されており、特筆すべき苦情・要望等もないことから、利用者との良好な関係が保持されていることが窺え、全体として適正な管理運営が行われていると考える。</p>
--